

岩 手 実 技 教 室

◎ 要 項 ◎

1. 実技教室の目的

全国各地の地域において広く参加者を募集し、ブラインドラグビーの普及や競技技術向上、また視覚障がいの理解を深めるため。

2. ブラインドラグビーとは？

ブラインドラグビーとは、「視覚に障害を持っている人たちが行うラグビー」です。病気により又は生まれつき視力・視野が失われ、好きなラグビーが継続できなかった人、興味があって経験したくてもチャンスに恵まれなかった人、体を動かしたい人が楕円のボールを追いかけて、パスしたりキャッチしたり、みんなでボールを持って走り回るスポーツです。

3. 日本ブラインドラグビーの歴史

2015年に、イギリスで考案された障がい者スポーツです。日本では、2018年に紹介され、2019年にイギリスからコーチが来日して、講習会が開かれたのがきっかけです。2019年4月1日に「一般社団法人日本ブラインドラグビー協会」が設立されました。

4. ブラインドラグビーの特徴

ブラインドラグビーは7人対7人で試合を行います。選手には弱視(ロービジョン)と全盲の方がプレーしています。弱視(ロービジョン)とは、100人いれば100通りの見え方があると言われており、一人一人見え方が違います。全盲とは、多少の明るい暗いの判断ができる人もいますが、両目とも見えていない状態のことを言います。ブラインドラグビーは、人との距離感がわかり選手もいれば、目でボールを追えない選手もいたり、一般のラグビーと同様に多様性を活かして、見え方を工夫しながらみんなでトライを狙いにいくのが魅力の1つとなっています。また国内ルールとして、健常者も交えてプレーすることができます。健常者は、視覚障がいを理解した上で安全に配慮しながら、当事者に遠慮せず、対等にプレーすることで、障がいがある人、ない人の共生社会の空間を作ります。タックルの代わりに手で相手を「タッチ」することで、男女問わず、安心安全に行えるスポーツです。

5. 私たちが考えるビジョン

ブラインドラグビーによって、障がいがある人とない人と共にスポーツを楽しむ共生社会を実現すること。

6. 実技教室名

岩手県ブラインドラグビー実技教室 ※初開催

7. 主催

一般社団法人日本ブラインドラグビー協会

8. 協力

スポーツ振興くじ (toto)

9. 開催日時(予定)

2022年9月11日(日) (受付開始13:00～) 教室開始13:30～16:00

10. 開催会場

場所：ふれあいランド岩手

住所：〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳 8 地割 1-3

11. 参加資格

定員 50 名（参加費無料）

視覚障害児・者、健常者（年齢・性別問わず）

※参加する際は、当協会ホームページより問い合わせください。

12. 持ち物

動ける服装、運動靴、飲み物、マスク

※シャワー付きの更衣室があります。

◇当日スケジュール◇(予定)

※コロナ感染拡大に伴い、消毒作業を徹底して行います。

当協会スタッフ 8 名を配置予定

①挨拶

- ・当協会スタッフ及び、協力いただいた団体代表挨拶
- ・参加者の自己紹介

②実技による視覚障がい理解

・日常生活において、困っている当事者を見かけた際に、どのような声かけが正しいのか？どのようなサポートをするべきなのか？を実際に視覚障がいを体験してもらいながら、声掛けやサポートのやり方を学ぼう。

③ブラインドラグビー体験

・視覚障がいを理解した上で、実際にボールを使って、ブラインドラグビー選手と一緒にパスやタッチを体験しよう。

④ミニゲーム

- ・体験していただいたことを活かして、ブラインドラグビーの試合を体験してみよう。

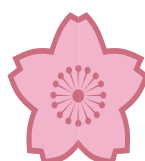
※問い合わせ先

一般社団法人日本ブラインドラグビー協会

事務局 森 祐二郎

TEL 090-6309-1945

Mail mori@blindrugby.jp



JBRU
Japan Blind Rugby Union